

平成 20 年 2 月 4 日

各 位

会社名 株式会社東京スター銀行
代表者名 代表執行役頭取 CEO タッド・バッジ
(コード番号：8384 東証第 1 部)
問合せ先 広報・IR チーム
TEL. 03-3586-3111 (代表)

平成 20 年 3 月期配当予想の修正に関するお知らせ

株式会社東京スター銀行（以下「当行」といいます。）は、平成 19 年 5 月 25 日に公表いたしました平成 19 年 3 月期決算短信及び同年 11 月 16 日に公表いたしました平成 20 年 3 月期中間決算短信においては、平成 20 年 3 月末日を基準日とする期末配当（以下「今次期末配当」といいます。）として普通株式 1 株当たり 5,000 円を予想いたしておりましたが、本日開催の取締役会において、ジャパン・ブルー・スカイ・キャピタル・パートナーズ・エルピー、ジャパン・バンキング・インベストメント・パートナーズ・エルピー、トウキョウ・キャピタル・マネジメント・パートナーズ・エルピー、ケイマン・ストラテジック・パートナーズ・エルピー（以下、あわせて「公開買付者」といいます。）による当行株式及び新株予約権に対する公開買付け（以下「本公開買付け」といいます。）が成立した場合には、今次期末配当を実施しないことを決議いたしました。

当行は、本日付「当行株式等に対する公開買付けに関する意見表明のお知らせ」において公表しておりますとおり、本日開催の取締役会において、本公開買付けに賛同する旨の意見を表明することを決議しておりますが、本公開買付けに関し、公開買付者は、当行に対し、公開買付けが成立した場合、今次期末配当を実施しないよう要請しております。公開買付者は今次期末配当の見込み額も考慮したうえで本公開買付けに係る買付等の価格を算定しているところ、今次期末配当の支払いを行った場合、本公開買付けに応募する株主と応募しない株主との間に経済的効果の差異が生じる可能性があるため、当行としても、本公開買付けが成立した場合における株主の皆様の間での公平性を確保することが望ましく、また、本公開買付けが成立した場合、剰余金の配当により株主への利益の還元を行うよりも、内部留保を充実し高い収益性が見込まれる新規投資を行うことなどにより当行の企業価値を高めることが株主の意思に適うものと判断し、本公開買付けの成立を条件として、今次期末配当を行わない旨を決議したものです。

以 上